

「俳句との出会い」

山田美佐子

「わが齢ほとほと老いぬ花冷えに」さる二月五日、九十五歳で亡くなられた俳人でもあられた竹原はんさん最晩年の句。

以前テレビで拝見した「雪」の心に沁みる美しさ、四年前の国立大劇場が最後の舞台とか、また、俳句界でも鈴木真砂女さん九十一歳いまだ現役、「俳句」一月号カラー口絵に作品とお元気で美しいお姿で登場しておられる。

昭和五十五年七月都留市広報に松川樹海先生の俳句教室募集が掲載され、ほんの軽い気持ちで出席したそのことが、それから私の人生への大きな賜りものとなりました。

地域のお仲間、また、県内はもとよりその後入会した結社誌の皆さんとの出会い、それにもまして身の回りの今まで気づかずに過ごした自然の移り変わり、四季折々の風にも立ち止まるそんな心のゆとりを持つことができるようになりました。

過日、都留俳句連盟に所属している皆さんの作品、行事が掲載された機関紙「いずみ」が発刊されました。その中の志村頼峯氏の随筆「心其処にあらざれば」の末尾に「俳句をやるようになってからは、ちょっとしたことに気が付くようになりました。これからもさらに励み、素材をいっぱい貯えてやがて高齢となり、寝込むようになったら、今まで貯えて来た素材を思い出して、俳句を作り家族のものに看守られながら息を引き取りたい。これこそ大往生最高の幸福者であると思う。実にこのことこそ私が俳句をやる最大の目的であります」との一節が書かれていましたが、俳句に限らず生涯をかけて学ぶものを持つことで、最後まで生き生きとした張りのある人生を過ごすことができるのではないのでしょうか。

今、市当局が「生涯学習学習ネットワーク作り」など、大変前向きに取り組まれた皆さんの学習の機会を用意されております。多くの人々が自分にあつた生き方で、このチャンスを自分のものにした時に、新しい人生が開けてくると思います。

自分自身の豊かな未来のためにも、ともに学びませんか。誰にでも始めがあるのです。まず、第一歩を踏み出す勇気があれば、それは確実に貴方のものになるはずです。

「俳句への誘い」

今、都留俳句連盟では「一会員が一人新人を発掘する」という運動を展開しています。部屋の模様替えをするように貴方も人生の模様替えをしてみませんか。見たものの感じたものを素直に言葉に表現したらいいと思います。多くの方々の入会を歓迎いたします。

生涯学習通信 生涯学習推進会議普及・啓発部会

《わたしと生涯学習》

これから何か始めようと考えておられる方に少しでも参考になればと思い、「わたしと生涯学習」と題して、現在「生涯学習推進に携わっている方」「生涯学習を実践されている方」に【生涯学習について日ごろ考えていること】【生涯学習に実際取り組んでいること】などを紹介していただきました。

「学びのまちづくり」

伊藤一元

今、生涯学習社会は、理念だけでなく、社会の変化に対応し、その実像を見せなくてはならない時代といえるのではないかな。

本県においても「一人ひとりを生かす生涯学習やまなしの形成」を掲げ、学ぶ者の立場に立った生涯学習推進体制の整備や、学習機会、情報の提供などが進められている。昨年度からは、生涯学習の所管が企画県民局に移され、生涯学習の総合企画や、総合調整機能の強化を図る中で、生涯学習への期待に応えられる施策の展開に努めている。

都留市でも「自分をつくり、都留をつくる学びのまちづくり」をスローガンに「学びと実践の輪をつなげて」をサブタイトルとして「健康で生きがいのある市民の暮らしの実現」を目指し、関係者の努力によって取り組んできた。しかし、その実現と進展を図るには、さらに踏み込んだ「発想の転換と意識改革」が発揮されなくてはならない。

生涯学習の主体は住民に主軸を置き、各学校（大学・高校・小・中）、民間カルチャー、企業、学習団体（行政所管の各組織団体）、ボランティアグループ、サークルなど、すべての学習機会提供者が連携の輪を広げ、相互の特色を生かし、互恵性のあるネットワークを形成することである。

学びのまちづくりは、皆がそれぞれに、様々な学習を通して、地域活動に取り組む、「住んでいるところをもっと良くしよう、都留市に住んで良かった」という、まちづくり運動である。その実現と成果を推進させるには、まずもって、行政組織の縦割り意識の垣根を取り払うことである。他市町村でもこうした意識改革にたつて「まちおこし、むらおこし」のプロジェクトチームを編成し、新しい、若いエネルギーを投入している姿が目に見える。

これからの取り組みとして、
○行政所管の各組織団体、市民団体などとの有機的な連携システムを構築し、それぞれ実施される事業、イベントについて「生涯学習まちづくり」の推進事業として位置づけ、複合的にとらえ、総合事業として取り組むことである。

○従来の社会的教育的な分野に偏りがちな学習・運動から、住民生活にかかわる総合的な学習活動、地域活動として企画実践することである。併せて生涯学習推進本部の組織機能を強化することである（キーステーションとして）。

平成十年度以降に向けて策定された生涯学習推進計画に対し、その実現を目指して、力強く推進されることを期待している。そして、わが町都留市の地域共同体・連帯感を構築し、活力あるまちづくりに向かって邁進し、やがて「生涯学習まちづくり、宣言都市」に発展させたいと願ってやまない。